

# 地域を知って、参加して、考え、伝えて行動する。



初めての選挙戦も、大野城を愛する支持者、井本宗司市長候補と共に声が枯れるまで、ひとりでも多くの方に、井上順吾の誓いを聞いて頂きたいとの一心で大野城市中を駆け回り、最後の最後まで闘いぬきました。

## 厳しい選挙戦も井本市長候補と共に

やつと、一候補者としてこの日を迎えた喜びと使命感、そして日々応援の輪の広がりと確かな手応えを感じ、これまで後援会活動を支えてくれた支援者に感謝しながら、「じゅんごでござー!」のかけ声で、気持ちを新たにしての出陣となりました。



平成17年8月26日  
福岡県議会議員  
補欠選挙告示出陣式

告示を直前に控えた真夏の夜、「まだかぴあ大ホール」を埋めつくす千百名の支援者と共に。これからこそ乗越えてこれたと確信することができました。

## やつと迎えたこの日この使命



平成17年8月10日  
井上順吾後援会総決起大会

井上順吾の決意に、地元の皆様のご理解と暖かいご支援を頂き、南ヶ丘に後援会事務所を開きました。猛暑の中、駆けつけて頂いた八百名を越える支援者と心をひとつに、選挙戦へ向けての出発の日になりました。

## 地元の皆さんに支えられて



平成17年7月17日  
井上順吾後援会事務所開き

この日から始まりました

井本市長とともに県庁や那珂土木事務所などに要望活動を。



## 市政とのパイプ役として

那珂川宇美線の早期完成に向けて、県道の歩道整備について要求して参りました。



2月定例議会  
予算特別委員会

予算特別委員会委員として「市町村合併について」「現在旧福岡県公会堂貴賓館建替えが進んでいる件について」「生活保護費について」等質疑を行いました。



平成17年12月15日  
思いやりのミニベンチ  
ミニパークの整備

この日初めて地元の声を県政に届けることが出来ました。高齢者対策として「思いやりのミニベンチ・ミニパークの整備」について一般質問を致しました。

大野城市は昭和四十年代から福岡市のベットタウンとして開発が進み、急勾配の道路が多く、高齢者などには不便であることからその実態調査や対策について県当局に要求しました。

大野城市市民の皆さまの尊き一票一票の審判を仰ぎ、一万六千百票という身に余る票を頂き、新人候補井上順吾を県政に送り出して頂きました。



初当選を祝う後援会の皆さんと共に。  
なお、井本市長候補も20,242票を頂き見事に当選されました。

平成17年9月4日  
井上順吾県議・井本市長誕生

井本市長とともに県庁や那珂土木事務所などに要望活動を。



初当選した平成十七年の定例議会から毎年一般質問をし、その実現に向けてその思いを訴えて参りました。

これまで、思いやりのある社会実現のために、「高齢者対策」「障害者対策」「高齢者にやさしい道路行政」「自然環境保護活動」を行ってきました。今回は戦後の日本復興のため高度成長を支えてこられた団塊世代の方が大量退職時代に入ることから、第二の人生を生き生きと送るためにその体力維持を図ることが大切であると訴え。そのことが結果的に医療費の抑制、介護予防などに繋がると要望しました。

教育長からの答弁と知事部局に対しても総合的な取り組み、環境づくりが大切であるとわせて要望しました。

生涯スポーツの普及は、元気な高齢者が支える福岡県づくりにもつながるからです。



## 十一月定例議会一般質問にて



子育て支援対策に取り組む自民党女性局長の橋本聖子参議院議員が応援のため大野城市に駆けつけてくれました。秋晴れの下、さわやかな講演会となり、参加された方々は、聖子議員がオリンピック選手としてだけではなく、子育てや自らの体験談など語られるその人柄に参加者は魅了されました。

## 橋本聖子さんによる女性の集い

交通渋滞対策のため長年をかけて進めている県事業は大野城市的協力を得ながら進められていますが、その効果を一日も早く実現できるよう一生懸命取り組んで参ります。



便利に快適に今も変わり行く我が街大野城

道路改良事業・飯塚大野城線  
通称那珂川宇美線中地区を望む。  
大野城市域のバイパス工事(約2.4km)  
は平成29年度完成を目指しています。



(春日原～下大利)  
約3.4km平成26年度完成を目指しています。